FUJITSU

Advanced Video Movement

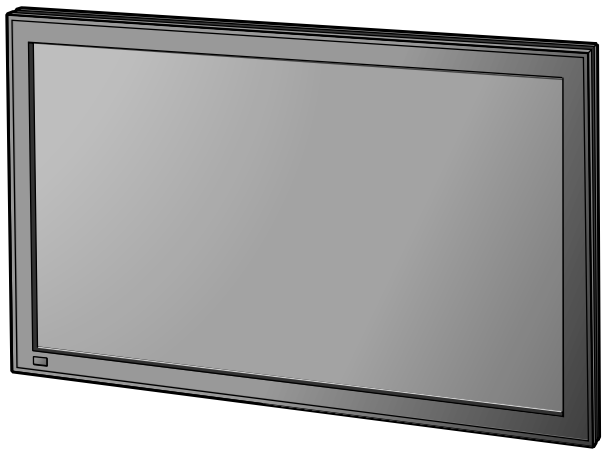
取扱説明書(1/2)
「仕様と各部の名称」

42V型ワイドプラズマディスプレイ
形名:P42HCA30J/P42VCA30J/HE4VS01J

Plasmavision® W

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に「取扱説明書(1/2)」および「取扱説明書(2/2)」をよくお読みください。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに「保証書」とともに必ず保存してください。

保証書別添



目 次

確認していただきたいこと…… 2
各部の名称と働き …… 3
設置 …… 6

オプション品 …… 7
主な対応信号 …… 8
仕様 …… 9
全国サービスネットワーク …… 10

安全上のご注意 ……取扱説明書（2/2）に記載
知っておいていただきたいこと …取扱説明書（2/2）に記載
外部機器の接続 ……取扱説明書（2/2）に記載
リモコンの取扱い ……取扱説明書（2/2）に記載
基本操作 ……取扱説明書（2/2）に記載
ワイド画面で見る ……取扱説明書（2/2）に記載

映像を調整する ……取扱説明書（2/2）に記載
表示位置／サイズを調整する…取扱説明書（2/2）に記載
その他の設定 ……取扱説明書（2/2）に記載
FACTORY DEFAULT ……取扱説明書（2/2）に記載

お手入れ ……取扱説明書（2/2）に記載
アフターサービス ……取扱説明書（2/2）に記載

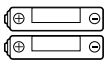
日本語

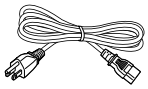
株式会社 富士通ゼネラル

確認していただきたいこと

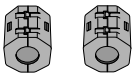
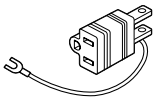
付属品の確認

リモコン…1 個　単 3 形乾電池…2 本　保証書…1 通　取扱説明書…2 冊　電源コード…1 本





フェライトコア…2 個　AC 変換アダプタ…1 個

外部機器の接続

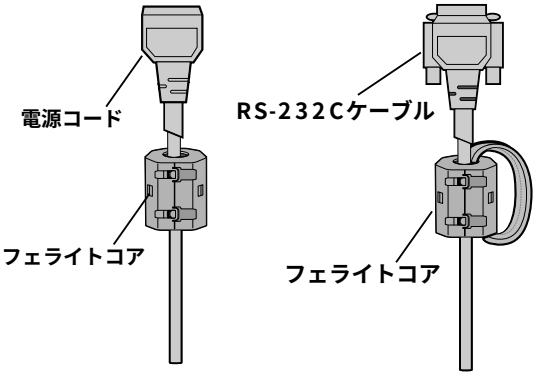
端子の位置、種類を確認して、正しく接続してください。
コネクターおよび端子がゆるんでいると、画像が乱れたり、色などが正常に表示されない場合がありますので、しっかり確実に接続してください。

フェライトコア

フェライトコアは不要電波を軽減するために使用します。

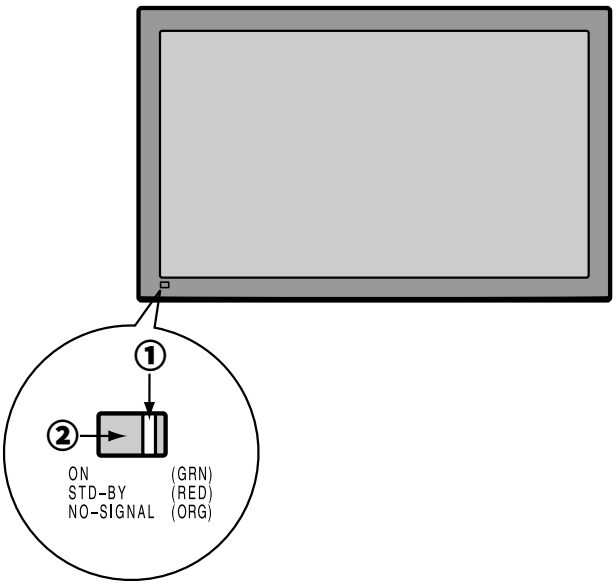
●フェライトコア…2 個

電源入力端子、RS-232C 端子にケーブルを接続するときは、端子近くに右図のように取り付けてください。



各部の名称と働き

前面



①電源ランプ

電源の状態を表示します。

点灯（赤色）　：待機状態

点灯（緑色）　：電源「入」状態

点灯（橙色）　：DPMS（節電機能）状態の節電状態（取扱説明書（2/2） 19ページ参照）

点滅（赤色、緑色）：内部異常（点滅のしかたで異常状態を示します。）

②リモコン受信部

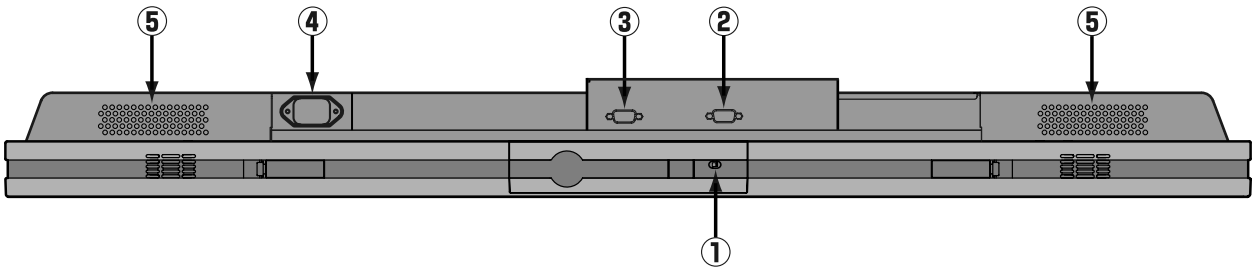
リモコンからの信号を受信します。

⚠警告

電源ランプが赤色および緑色で点滅しているとき(内部異常時)は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま放置しますと、火災・感電の原因となります。

各部の名称と働き（つづき）

底面



①OFF/STD-BY ⏻ スイッチ

OFF　　：電源ランプが消灯します。そしてリモコンで電源が入らなくなります。
一部には電源が供給されています。

STD-BY ⏻ ：電源ランプが「赤色」に点灯します。そしてリモコンで電源の「入」「切」ができるようになります。

②RS-232C 入力端子 (RS-232C)

パソコンで本機を制御するための端子です。パソコンの RS-232C 端子と接続します。
ケーブルを接続するときはフェライトコアを取り付けてください。（2 ページ参照）

③RGB1 入力端子 (RGB1 INPUT/mD-sub)

パソコンのモニター(アナログ RGB)出力端子と接続します。

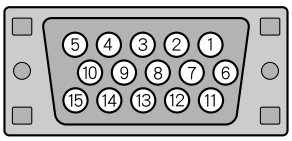
④ 電源入力端子

付属品の電源コードを接続します。
ケーブルを接続するときはフェライトコアを取り付けてください。（2 ページ参照）

⑤ 内蔵スピーカー（HE4VS01 に搭載）

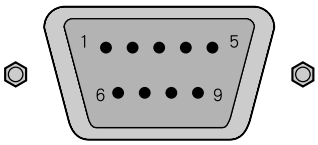
入力端子の説明

mD-sub端子（RGB1 INPUT/mD-sub）



ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	赤	9	ー
2	緑	10	Ground
3	青	11	ー
4	ー	12	ー
5	Ground	13	水平(H)同期(TTL)
6	Ground	14	垂直(V)同期(TTL)
7	Ground	15	ー
8	Ground	外枠	Ground

RS-232C端子（RS-232C）



ピン番号	信号
1	DCD(Data Carrier Detect)
2	RD(Received Data)
3	TD(Transmit Data)
4	DTR(Data Terminal Ready)
5	GND(Ground)
6	DSR(Data Set Ready)
7	RTS(Request To Send)
8	CTS(Clear To Send)
9	RI(Ring Indication)

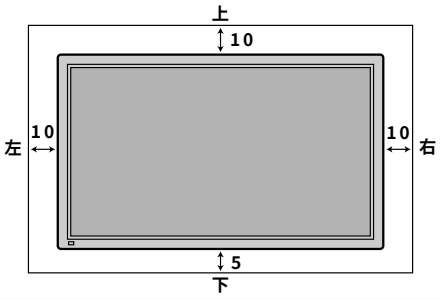
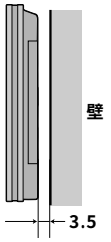
※機種、オプション機器によって、端子配列が異なる場合や機能が無い場合があります。
本体表示を確認ください。

設置

本機内部の温度上昇を防止するため、本機周囲に風通しの空間を設けてください。また放熱をよくするために、本機周囲には下図の空間距離(最低距離)を設けてください。

本機を設置するときには、オプションの卓上スタンド、天吊りユニット、壁掛けユニットなどを必ず使用してください。設置は、販売店にご依頼ください。
本機を設置するときには、各オプションの取付説明書をご覧ください。

※本機の周囲温度を 0 ～ 40℃の範囲に保つことができる場所に設置してください。
※本機は風通しが良い場所に設置してください。また通風孔をふさがないようにしてください。
※本機を左右および背面方向へは傾けないでください。
※電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配線してください。
※事故防止と地震などのときの安全確保のため、転倒防止の処置をしてください。

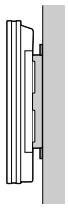
前　面	側　面
	

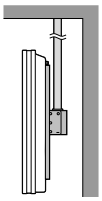
お願い 本機は、精密機器のため、輸送時には専用の包装材を利用してください。その際に、当社以外の包装材は、使用しないでください。

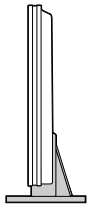
参　照 オプション品については、7 ページを参照してください。

オプション品

壁掛けユニット	取付け角度　0˚～15˚	P-WB4201形
天吊りユニット	取付け角度　0˚～15˚	P-CT4200形
卓上スタンド		P-TT4200形







※本機にオプション品を取り付けた場合は､オプション品の取扱説明書または取付説明書の設置仕様に従ってください。
※本機とオプション品の間には、若干の色の差があります。
※オプション品は、機能・性能の向上のため、仕様・形名が変更になる場合があります。販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

⚠警告

据え付けるときや設置するときは、お買上げ窓口に依頼してください。
ご自分で据付け工事や移設工事をすると、落下・倒れによるケガや火災・感電の原因となります。

主な対応信号

RGBの調整値は最新の4種類の信号を記憶します。5種類目の信号を入力すると、一番初めに入力した信号の調整値がクリアされます。保存したい信号を入力し、「表示位置／サイズを調整する」（取扱説明書 2/2 参照）の説明にしたがってお好みの画面に調整してください。調整が終了するとその調整値が自動的に保存されます。調整後、同じ信号が入力されると最後に保存された調整値で表示されます。

主な対応信号（RGBモード）

表示（ドット・ライン）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	対応信号
640×480	31.47	59.94	VGA
640×480	37.50	75.00	VGA 75Hz
640×480	43.27	85.01	VGA 85Hz
720×400	31.47	70.09	400ライン
800×600	37.88	60.32	SVGA 60Hz
800×600	46.88	75.00	SVGA 75Hz
800×600	53.67	85.06	SVGA 85Hz
1024×768	48.36	60.00	XGA 60Hz
1024×768	60.02	75.03	XGA 75Hz
1024×768	68.68	84.99	XGA 85Hz
1280×1024	63.98	60.02	SXGA 60Hz
1280×1024	79.98	75.03	SXGA 75Hz
1600×1200	75.00	60.00	UXGA 60Hz } ★
1600×1200	106.25	85.00	UXGA 85Hz } ★
848×480	31.02	60.00	
852×480	31.72	59.97	
1360×768	47.71	60.01	
720×485	15.73	59.94	60 フィールド
720×575	15.63	50.00	50 フィールド

※水平、垂直周波数が範囲内でも、入力信号によっては画面に「Out of range」が表示されることがあります。この場合には、上記、入力信号より別の周波数に合わせてください。

★表示画素数が852×480のモデルは対応しておりません。

・本機は入力信号によって縮小補間による圧縮表示をする場合があります。
・本機の保証範囲外の信号を入力すると「Out of range」の表示をします。
・入力信号はFEATURESメニュー画面のInformationで確認できます。（取扱説明書 2/2 参照）
・写真や図は説明を分かりやすくするために、多少実物と異なる場合がありますので、ご了承ください。
・機種、オプション機器によって機能が無い場合や変更になることがあります。

仕様

形名		P42HCA30J
画面サイズ		42V型ワイド (幅92.2cm×高さ52.2cm、対角106.0cm)
アスペクト比		16:9（ワイド）
質量		29.5kg
外形寸法		103.5(幅)×64.0(高さ)×8.5(奥行)cm （突起部を含まず）
使用電源		AC100V 50／60Hz
消費電力		340W（待機時2.2W）
表示画素数		1024(横)×1024(縦)
動作使用条件		温度0～40℃ 湿度20～80%
接続端子	RGB1入力	mD-sub3列15ピン 1端子　映像信号：0.7Vp-p／75Ω 同期信号：TTLレベル
	制御	RS-232C　D-sub9ピン 1端子

形名		P42VCA30J	HE4VS01J
画面サイズ		42V型ワイド (幅92.1cm×高さ51.8cm、対角105.7cm)	
アスペクト比		16:9（ワイド）	
質量		31kg	31.5kg
外形寸法		103.5(幅)×64.0(高さ)×8.5(奥行)cm （突起部を含まず）	
使用電源		AC100V 50／60Hz	
消費電力		370W（待機時2.3W）	
表示画素数		852(横)×480(縦)	
音声出力		－	2W+2W（EIAJ）8Ω（オプション取付時のみ有効）
スピーカー		－	2個内蔵（オプション取付時のみ有効）
動作使用条件		温度0～40℃ 湿度20～80%	
接続端子	RGB1入力	mD-sub3列15ピン 1端子　映像信号：0.7Vp-p／75Ω 同期信号：TTLレベル	
	制御	RS-232C　D-sub9ピン 1端子	

・仕様および外観は、改善のため変更することがありますのでご了承ください。
・本機を使用できるのは、日本国内のみです。
・この製品はクラスＡ情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。この際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。
・この装置は、「JIS　C　61000-3-2　適合品」※です。
・長時間、連続して画面を見ていると目が疲れます。ディスプレイから離れた場所からご覧になり、ときどき目を休めてください。（画面からの距離は、1.6m 以上が目安です）
・「Plasmavision®は当社の登録商標です。」
※「JIS　C　61000-3-2　適合品」とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

全国サービスネットワーク

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買上げの販売店へお申し付けください。転居や贈答品などでお困りの場合は、最寄りの当社サービスコールセンターへご相談ください。

テレフォンサービス　☎ 044(857)3000、072（332)3841

URL　http://www.fg-cs.co.jp

東日本地区

●サービスコールセンター東日本

北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島地区

☎　022(239)5233（代）
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

北海道	☎ 011(241)4622(代)	〒060-0007	札幌市中央区北七条西13丁目9番地の1笹本ビル
青　森	☎ 017(722)9012(代)	〒030-0813	青森市松原1-5-5サンシャインプラザ松原B-101
盛　岡	☎ 019(638)5130(代)	〒020-0891	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-9-5
秋　田	☎ 018(867)1281(代)	〒010-0972	秋田市八橋田五郎1丁目12番51号
仙　台	☎ 022(239)5106(代)	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町3丁目5番5号
山　形	☎ 023(645)6330(代)	〒990-0832	山形市城西町４丁目２０番３１号
郡　山	☎ 024(922)5570(代)	〒963-8851	郡山市朝日2-1-5丸久ビル105号

近畿・中部地区

●サービスコールセンター大阪

愛知・岐阜・三重・石川・福井・富山・大阪・京都・和歌山・奈良・兵庫・滋賀地区

☎　072(332) 3311(代)
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

松　原	☎072(332)3603(代)	〒580-0004	松原市西野々２丁目１番４５号
名古屋	☎052(775)1847(代)	〒465-0028	名古屋市名東区猪高台1丁目1315番地
金　沢	☎076(291)2354(代)	〒921-8014	金沢市糸田１丁目７１番地
三　重	☎059(232)7407(代)	〒514-0102	津市栗真町屋町１７０９番地
京　都	☎075(931)0486(代)	〒601-8213	京都市南区久世中久世5丁目2番1号日本鉱産ビルグラハイツ1階

首都圏地区

●サービスコールセンター東京

東京・新潟・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・神奈川・静岡・山梨・長野地区

☎　044（861）7700(代)
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

東京第一	☎03(3864)9331(代)	〒111-0051	東京都台東区蔵前4丁目18番6号蔵前柴田ビル
東京第二	☎0422(53)6709(代)	〒180-0014	武蔵野市関前3丁目15番10号秋山ビル1階
多　摩	☎0426(36)5697(代)	〒192-0914	八王子市片倉町311番1号リーベ片倉1階
新　潟	☎025(271)2251(代)	〒950-0863	新潟市卸新町1丁目842番地28
高　崎	☎027(328)0711(代)	〒370-0831	高崎市新町６番１９号
宇都宮	☎028(662)8221(代)	〒321-0912	宇都宮市石井町2578番地
大　宮	☎048(668)4812(代)	〒331-0811	さいたま市北区吉野町2丁目202番地1号
千　葉	☎043(266)6151(代)	〒260-0843	千葉市中央区末広5丁目11番9号
柏	☎0471(67)7163(代)	〒277-0023	柏市中央1丁目９番２号久保ビル
横　浜	☎045(944)3900(代)	〒224-0007	横浜市都筑区荏田南5丁目18番53号
川　崎	☎044(861)7825(代)	〒213-8502	川崎市高津区末長1116番地
静　岡	☎054(237)8859(代)	〒422-8034	静岡市高松２丁目１７番３３号
浜　松	☎053(464)0068(代)	〒435-0048	浜松市上西町３５番５号
松　本	☎0263(27)3246(代)	〒390-0841	松本市渚3丁目10番11号折井ビル1階

中国・四国地区

●サービスコールセンター大阪

広島・岡山・鳥取・島根・山口・香川・徳島・愛媛・高知地区

☎　072(332) 3311(代)
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

広　島	☎082(503)5118(代)	〒733-0034	広島市西区南観音町１７番９号
岡　山	☎086(244)4217(代)	〒700-0975	岡山市大元2-4-3ヤマシタ大元ビル1階
松　江	☎0852(21)9014(代)	〒690-0015	松江市上乃木9-2-17シェルプラン102
高　松	☎087(885)1111(代)	〒761-8084	高松市一宮町２５８番の１
松　山	☎089(934)0857(代)	〒790-0952	松山市朝生田町7丁目1番32号

九州地区

●サービスコールセンター福岡

福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄地区

☎　092(542) 0500（代）
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

福　岡	☎092(552)1435(代)	〒815-0031	福岡市南区清水2丁目９番２９号
北九州	☎093(921)4572(代)	〒802-0064	北九州市小倉北区片野4丁目3-18木村ビル1階
大　分	☎097(558)1524(代)	〒870-0907	大分市大津町1丁目１４番２号
熊　本	☎096(360)3981(代)	〒862-0913	熊本市尾の上4丁目11-47号ミヒロビル
鹿児島	☎099(254)6505(代)	〒890-0073	鹿児島市宇宿３丁目１７番１３号

※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

（平成15年4月1日現在）

FUJITSU　株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502　川崎市高津区末長1116番地

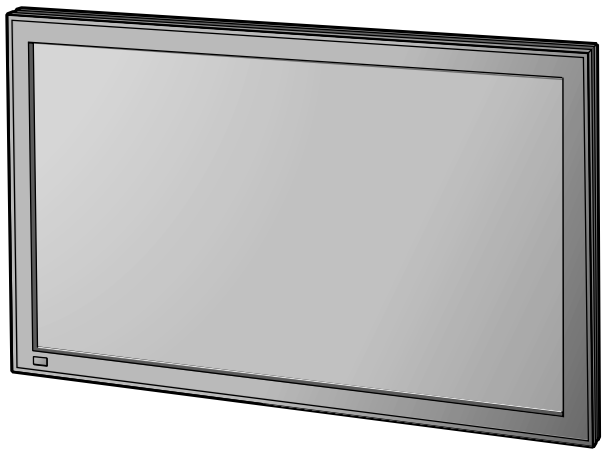
FUJITSU

取扱説明書(2/2)
「ご注意と調整方法」

ワイドプラズマディスプレイ用ビデオボード
WITH OPTIONAL VIDEOBOARD

Plasmavision®

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に「取扱説明書(1/2)」および「取扱説明書(2/2)」と取り付けるプラズマディスプレイの「取扱説明書」とを合わせてよくお読みください。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに「保証書」とともに必ず保存してください。



目 次

安全上のご注意 …… 2
知っておいていただきたいこと …… 6
外部機器の接続 …… 7
リモコンの取扱い …… 8
基本操作 …… 10
入力モードを選択する …… 11
ワイド画面で見る …… 12

映像を調整する …… 14
表示位置／サイズを調整する …… 16
音声を調整する …… 18
その他の設定 …… 20
FACTORY DEFAULT …… 28

お手入れ …… 29
アフターサービス …… 30

日本語

株式会社 富士通ゼネラル

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この項目は、いずれも安全上に関する内容ですので、必ず守ってください。
「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

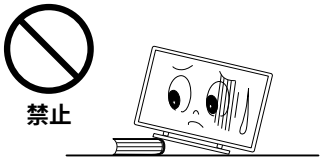
絵表示について

	⚠ 記号は、警告・注意を告げるものです。
	⃠ 記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表しています。（左図の場合は、分解や改造の禁止）
	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表しています。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください)

据付け時

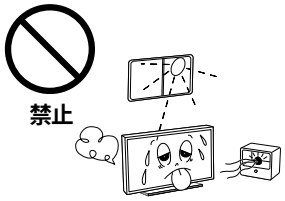
⚠警告

ぐらついた台の上や不安定な所に据え付けないでください。



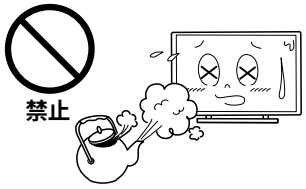
直接床に置いたり壁に立てかけたりしないでください。転倒によるケガや火災・感電の原因となります。

熱器具などを近付けないでください。



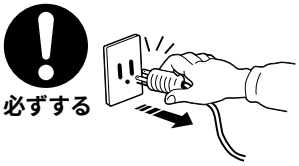
直射日光の当たる所やエアコンの吹出口近く、ストーブなどの近くに置くとキャビネットが変形したり、内部が高温となり火災の原因となります。

湿気やホコリの多い所に据え付けないでください。



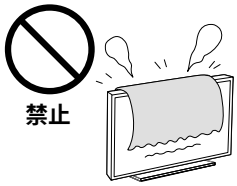
水蒸気、油煙などの近くに置かないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグは、必ず本機の近くの容易に抜き差しできる場所のコンセントを使用してください。



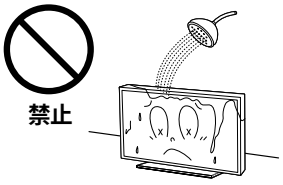
本機に異常があるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

通風孔をふさぐような据付けはしないでください。



カーテンやテーブルクロスなどを掛けたりしないでください。また、あお向けや逆さまにするなどの状態でご使用になると内部が高温となり火災の原因となります。

屋外や湿気の多い場所に据え付けないでください。

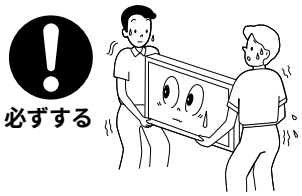


風呂場やシャワー室などの湿気の多い場所で使用しますと火災・感電の原因となります。

据付け時

⚠警告

据え付けるときや移設するときは、販売店に依頼してください。



ご自分で据付け工事や移設工事をされると、落下、倒れによるケガや火災・感電の原因となります。必ず据え付けてから使用してください。

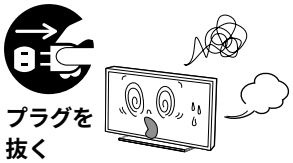
本機の電源プラグは、アース付3芯プラグですのでコンセントが2芯専用の場合は、アース工事をしてください。

アース工事をしないと感電の原因となります。販売店にご相談ください。

ご使用時

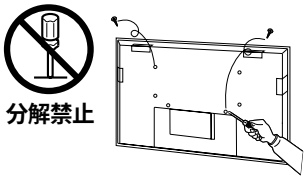
⚠警告

煙が出る、異臭がするなどの異常があるときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



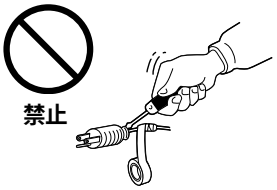
異常状態のときは危険ですので、必ず電源プラグを抜いて煙が出なくなるのを確認してから販売店にご相談ください。そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

裏ブタ、キャビネットカバーをはずしたり分解や改造をしないでください。



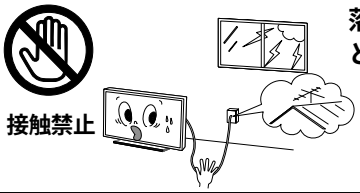
内部には電圧の高い部分や温度の高い部分があり、触れるとやけどや感電の原因となります。

電源コードやプラグを破損しないようにしてください。



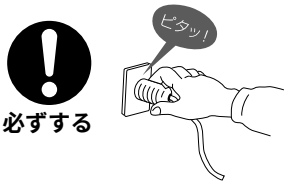
傷付けたり、加工しないでください。また重い物を載せたり、加熱したりすると破損することがあり、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りはじめたら、本機および電源プラグには触れないでください。



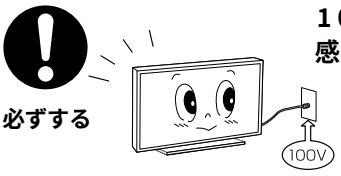
落雷で感電や火災の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

電源は交流１００V専用コンセントを使用してください。

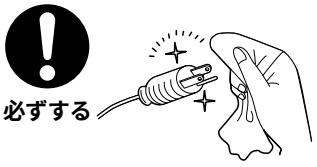


１００V 以外の電源は火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグにストーブなどの熱器具を近付けないでください。

電源ケーブルを高温部に近付けないでください。火災の原因となります。

電源プラグにホコリが付着しないように定期的にホコリを取ってください。



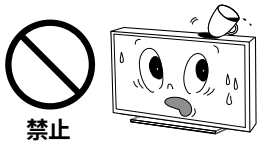
ホコリが付着すると電源プラグの絶縁不良により火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

ご使用時

⚠警告

内部に異物や水などを入れないでください。



火災・感電の原因となります。もし入ったときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

電源ランプが赤色および緑色で点滅しているときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま放置しますと、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

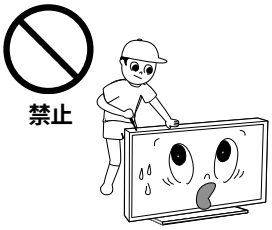
ご使用時

⚠注意

本機に乗らないでください。

倒れたり、壊れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

放熱ファンに触れないでください。

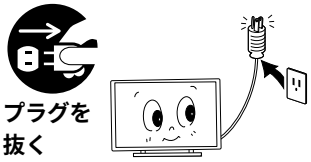


放熱ファンから熱風が出る場合があります。また、放熱ファンの中に棒などを入れないでください。ケガの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

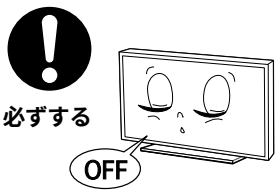
電源コードは必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線し、発熱・発火の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。



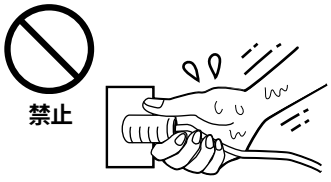
プラグ部分にホコリがたまって、発煙・発火の原因となることがあります。

各機器との接続は、電源を切ってから行ってください。



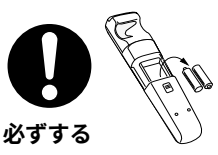
必ず、本機および接続する機器の電源を切ってから行ってください。切らずに行いますと感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



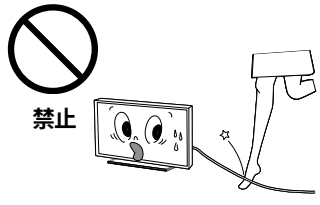
感電の原因となることがあります。

リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を取り出してください。



電池から液が漏れる場合があります。ぬれた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお、目がかすむなどの症状が出た場合は、医師にご相談ください。

接続ケーブルを引っ張ったり、引っかけたりしないでください。

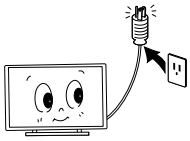


倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。特に、お子様にはご注意ください。

ご使用時

⚠注意

移動させる場合や、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

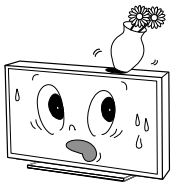


電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。接続したままですと感電の原因となることがあります。

一年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

本機の上に、物を置かないでください。

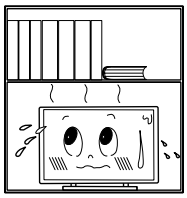


倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

衝撃を与えないでください。

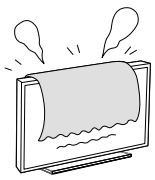
前面は、ガラスを使用しているため衝撃を与えるとガラスが割れ、ケガの原因となることがあります。

風通しの悪い所で使わないでください。



押入れ、本箱の中などの風通しの悪い所で使わないでください。本体内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

通風孔の上に物を載せないでください。

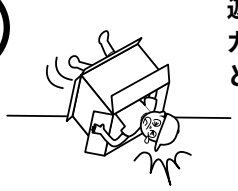


本機にテーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、他の機器を密着させて載せたりして、通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

本機をあお向けや逆さまにして使用しないでください。

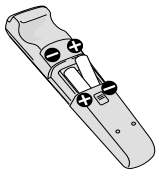
そのまま使用すると故障したり、火災の原因となることがあります。

梱包箱や梱包袋(ビニール袋)などは、お子様などが遊びに使わないように注意してください。



遊びに使ったりすると、ケガや窒息する原因となることがあります。

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖ の向き)に注意してください。



機器の表示通り正しく入れて下さい。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください。

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

知っておいていただきたいこと

接続する前に、本機および、接続機器の電源を必ず「切」にしてください。
外部機器との接続ケーブルは付属していません。パソコンの機種などにより使用する接続ケーブルが異なりますので、販売店にご相談し、お買い求めください。

電源の接続

必ずアースを接地してください。
本機の電源プラグは、アース付き 3 芯プラグです。コンセントが 2 芯専用の場合は、アース工事が必要です。
販売店にご相談ください。

⚠注意

AC変換アダプタ、ご使用時の注意点
●電源プラグは、アース付き3芯プラグです。
●コンセントが2芯専用の場合
・アース工事を専門業者にご依頼ください。
・付属のAC変換アダプタをご使用の際は、アース接続を確実に行ってください。
●アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

知っておいていただきたいこと

●定期的に内部の点検・掃除を、販売店にご依頼ください。

●長時間同一画像を表示すると、その部分の輝度が変化し、画面の一部が残像として焼き付く場合があります。本機の寿命を長くするためにも、スクリーンオービター、ホワイトスクリーンの機能などを利用して、長時間、連続して同一画像(パターン)を表示しないようにしてください。（25、26 ページ参照）

●プラズマディスプレイパネルは、非常に精密度の高い技術でつくられていて、99.99%以上の有効画素がありますが、ほんのわずかの画素が欠けたり常時点灯する場合があります。あらかじめご了承ください。

●本機は動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐために放熱用のファンが取り付けられています。

●放熱ファンより熱風が出る場合がありますのでご注意ください。

●他の AV 機器と相互に悪い影響が生じる場合には、販売店にご相談ください。
電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や、赤外線リモコンの誤動作などが発生した場合には設置場所を変えてください。

●RGB 入力端子に特殊なパソコンを接続すると、映像が正常に表示されないことがあります。
この場合には、販売店にご相談ください。

●内部に異常がある場合、内蔵されている保護回路により自動的に電源が「切」となります。その場合、電源ランプが赤色および緑色で点滅し、故障したことをお知らせします。

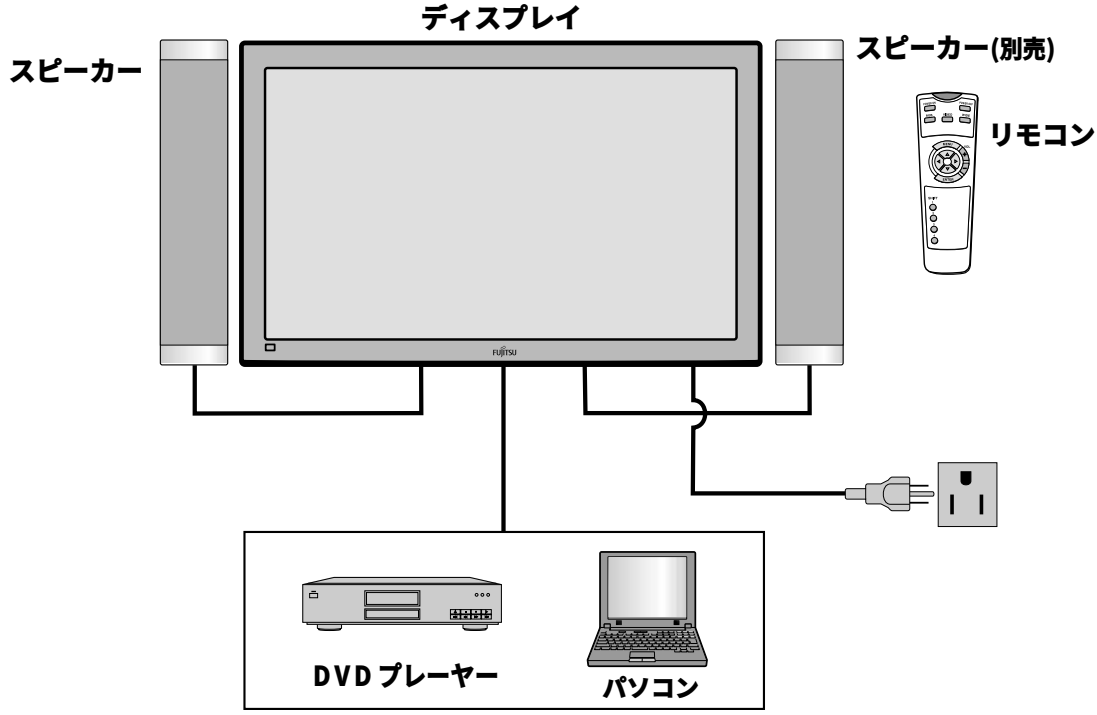
⚠警告

電源ランプが赤色および緑色で点滅している場合は、何らかの異常があったことをお知らせしています。
そのまま使用しますと、火災・感電の原因となりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

お知らせ 外部機器との接続ケーブルは付属しておりません。販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

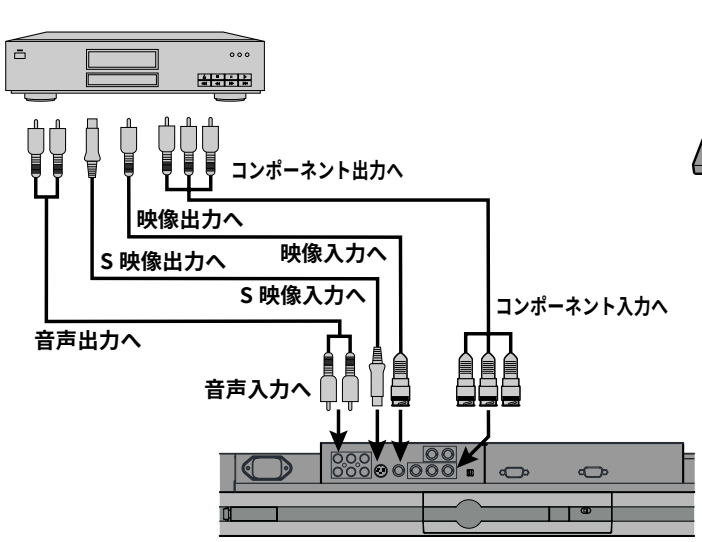
外部機器の接続

外部機器との接続例

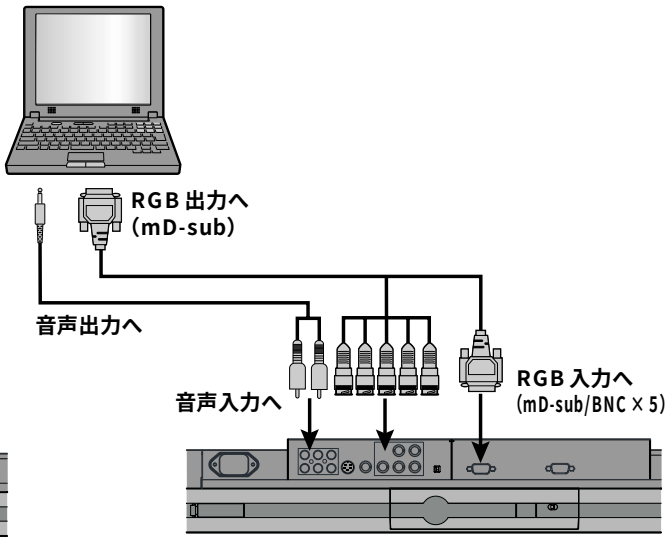


■ 接続例

・パソコンとの接続ケーブルは、お持ちのパソコンにより異なりますので、お買上げ店にご相談の上、お買い求めください。



DVD プレーヤーの場合

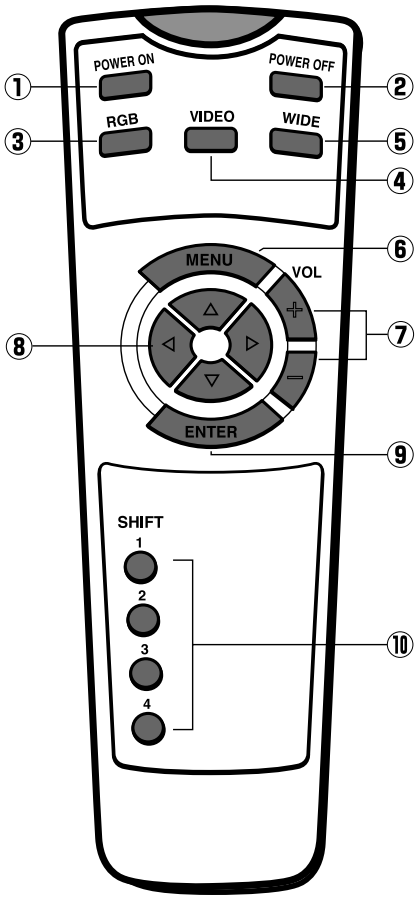


パソコンの場合

※外部機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
※接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
※音声を入力する場合は「Audio Input の設定（24 ページ)」をご参照ください。
※機種、オプション器機によって、端子配列が異なる場合や機能が無い場合があります。
本体表示を確認ください。

リモコンの取扱い

リモコン



①電源「入」ボタン（POWER ON） →10ページ

②電源「切」ボタン（POWER OFF） →10ページ

③RGB入力モード切換ボタン（RGB） →11ページ

④ビデオ入力モード切換ボタン（VIDEO） →11ページ

⑤ワイド切換ボタン（WIDE） →12-13ページ

⑥メニューボタン（MENU） →14-28ページ
メニュー画面を表示して映像や音声を調整するときに使用します。

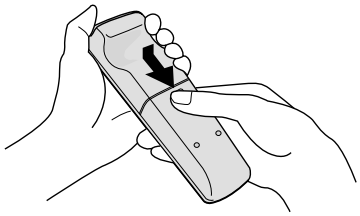
⑦音量調整ボタン（VOL ＋/－） →10ページ
音量を調整します。＋：音量を大きくします。
－：音量を小さくします。

⑧調整ボタン（◀/▶/▲/▼） →14-28ページ
メニュー画面表示中に、項目を選択、または値を調整するときに使います。

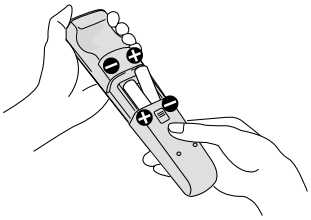
⑨決定ボタン（ENTER） →14-28ページ
調整メニュー、設定内容を決定します。

⑩モニター選択ボタン（SHIFT1～4） →26ページ
複数のディスプレイを使用している場合、ディスプレイに番号をつけて、1つのリモコンで4台まで個別に操作ができます。

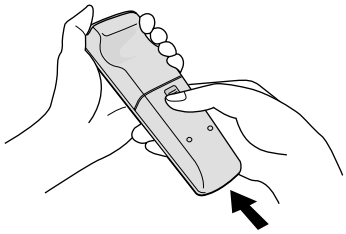
電池の入れ方



① カバーを押しながらスライドさせ、はずします。



② 単3形電池を2本入れます。（＋）、（－）を間違えないように入れてください。



③「カチッ」と音がするまで、カバーを閉めます。

⚠注意

電池を交換するときは、2本とも新品で、元の電池と同じ型・種類のものを必ず使用してください。
使用済みの電池は各地域の規則、あるいは公的な環境規則に従って処分してください。

お願い 電池が消耗すると、リモコンが正しく動作しなくなります。新しい電池と交換してください。
充電式（Ni-Cd）電池は、使用しないでください。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。

リモコンの取扱い時のご注意

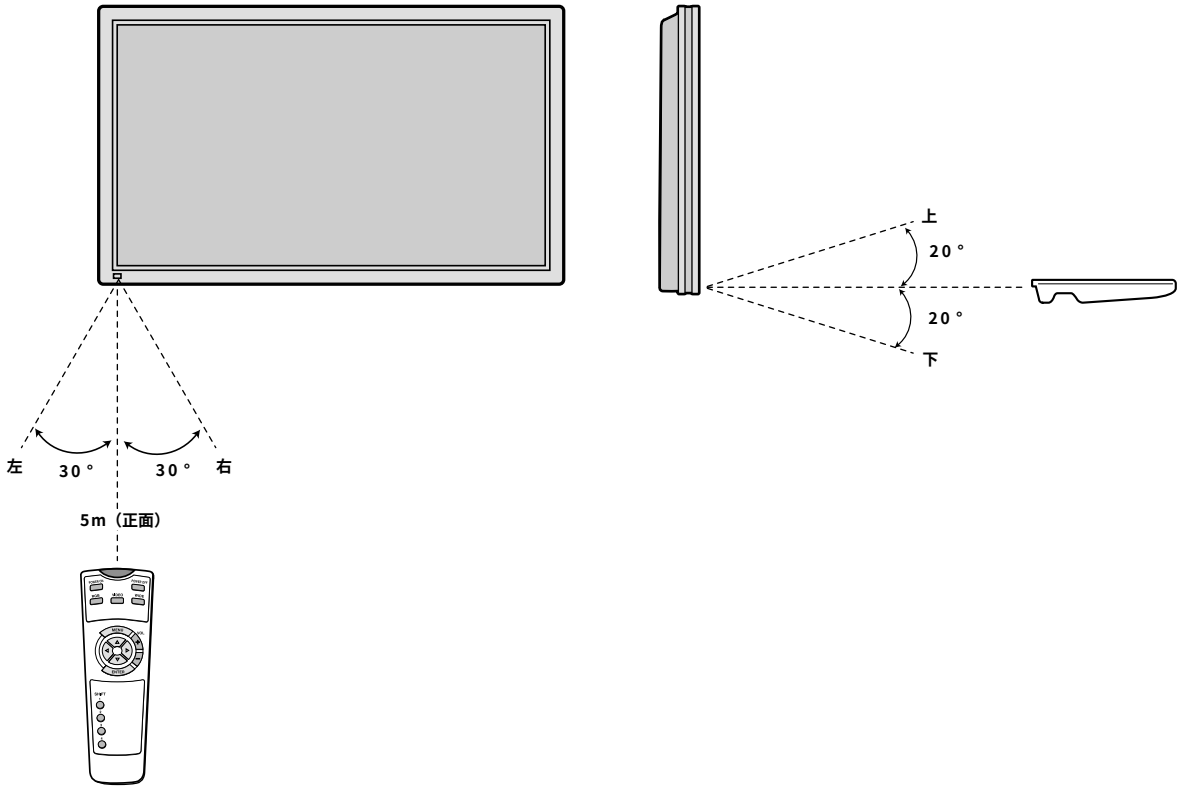
リモコンに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

リモコンを水にぬらしたり、温度の高い所やストーブなどの熱器具の近くには置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。

リモコンをベンジン・シンナーなど揮発性の液体でふかないでください。

リモコンの受信範囲

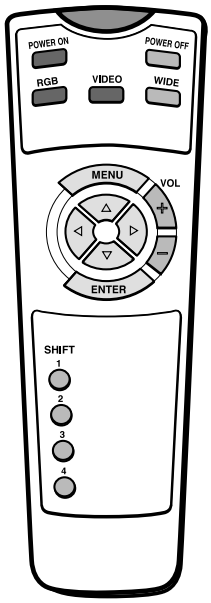
リモコン受信部に向けて操作してください。
本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。



お知らせ 高周波蛍光灯などを使用していると、正しく動作しない場合があります。このようなときは、蛍光灯または、リモコンの操作位置を変えてください。

基本操作

電源を「入」にする



1 **本機底面のOFF/STD-BY ⏻ スイッチを STD-BY ⏻ にする。**

電源ランプが「赤色」に点灯します。

2 **POWER ON を押す**

電源ランプが「赤色」から「緑色」に変わります。

3 **RGB または VIDEO を押す**

入力する映像モードを選択します。

電源を「切」にする

電源が「入」のときに POWER OFF を押す

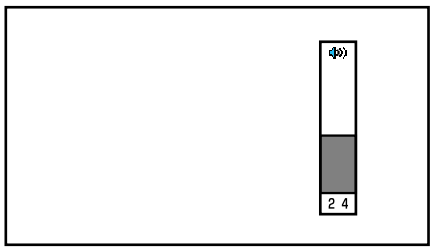
電源ランプが「緑色」から「赤色」に変わります。

音量を調整する

VOLUME ボタンを押す

＋ 音量が大きくなります。

－ 音量が小さくなります。



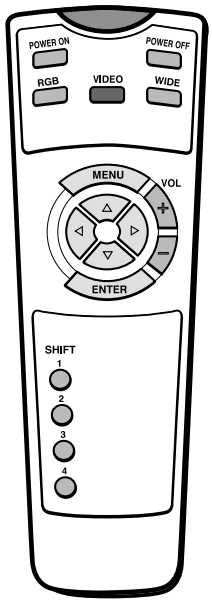
Volume ボタンを押したとき

＊Audio Input の設定（24 ページ参照）が「No Audio」になっているときにVOLUMEを押すと、「No Audio」と表示されます。

＊電源を「切」にしても現在の音量が記憶されています。

入力モードを選択する

ビデオ入力モード



1 VIDEOを押して入力モードを選択する

押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

→Video→S-video→Comp. video→

Video ビデオ端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

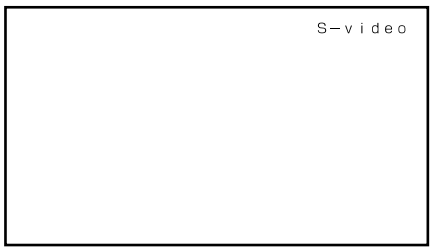
S-video S ビデオ端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

Comp. video コンポーネントビデオ入力端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

※ RGB 入力モード中でも切り換えられます。

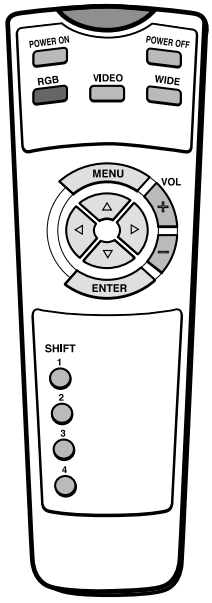
※ Comp.video入力を設定するとRGB2モードは入力できません。

※ BNC Input で設定します。(23 ページ参照)



S-video モード を選択したとき

RGB 入力モード



1 RGBを押して入力モードを選択する

押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

RGB1↔RGB2

RGB1 RGB 1端子（mD-sub）に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

RGB2 RGB 2端子（BNC x5）に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

※ビデオ入力モード中でも切り換えられます。

※ RGB2 入力を設定すると Comp.video モードは入力できません。

※ BNC Input で設定します。(23 ページ参照)

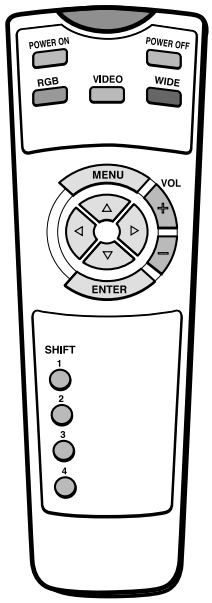
RGB1 モードを選択したとき

RGB2 モードを選択したとき

※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。

ワイド画面で見る

画面サイズを切り換える



1 WIDE を押す

現在の画面モードが表示されます。

2 WIDE で画面モードを選択する

押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

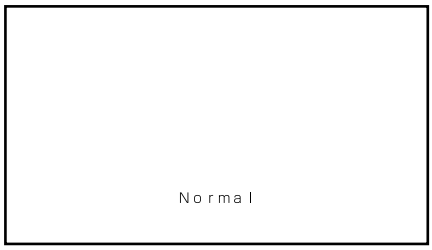
ビデオ入力モード

→Normal→Wide1→Wide2
Zoom2←Zoom1←

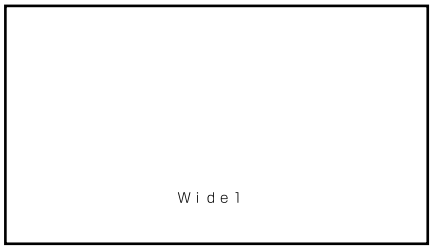
RGB 入力モード

→Normal→Wide→Zoom

※信号の種類によっては選択できないモードがあります。



Normal モードを選択したとき



Wide1 モードを選択したとき

お知らせ ノーマルモードを長時間、連続して使用しますと画面が焼き付く場合がありますので、ご注意ください。

お 願 い 本機では、各種の画面モードを選択することができます。テレビ番組やビデオソフトなどの映像比率（画面の縦横比）と異なるモードを選択した場合、オリジナルの映像と見え方が違います。このことをご留意のうえで、画面モードを選択してください。

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的としてイベント会場、飲食店などでご利用になる場合、オリジナルの映像比率と異なる画面モードで放映すると、著作権法で保護されている映像の著作権を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

制作者の意図を尊重するためには、オリジナルの映像比率と同じモードでご覧ください。

参　照 画面のサイズ、位置を調整する方法は、16 ～ 17 ページを参照してください。

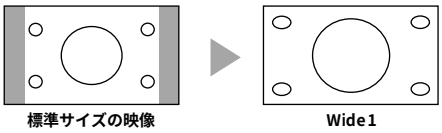
画面サイズ

Normal

標準サイズ(横 4：縦 3 の比率)の映像をご覧になることができます。

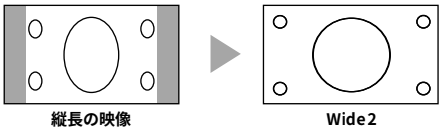
Wide1

標準サイズの映像を、違和感の少ないワイド画面としてご覧になれます。



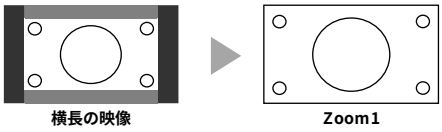
Wide2 ／ Wide

16：9 の映像を 4：3 に圧縮した縦長の映像（スクイーズ映像)をご覧になる場合に最適です。



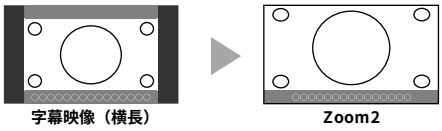
Zoom1 ／ Zoom

横長の映像を、縦横の比率を保ったまま均等に拡大して、ご覧になれます。



Zoom2

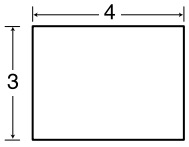
字幕付きの横長映像をご覧になるときに､字幕が欠けない程度に垂直方向を縮小します。（映像によっては字幕が見えにくい場合もあります）



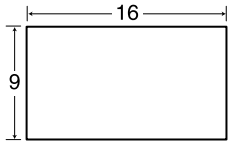
映像比率(アスペクト)とは

映像比率(画面の縦横比)には次の種類があります。

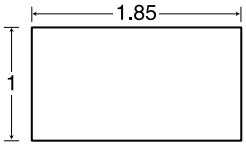
VHF/UHF 放送,BS 放送（画面比率 4：3）



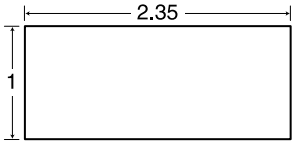
ハイビジョン放送,ワイドクリアビジョン（画面比率 16：9）



ビスタビジョンサイズ（画面比率 1.85：1）



シネマビジョンサイズ（画面比率 2.35：1）

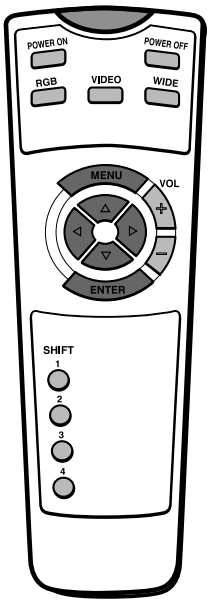


お知らせ 映像ソフトによく見られるビスタビジョンサイズソフトやシネマビジョンサイズソフトをZoomに設定しても、画面の上下に黒い部分が残る場合があります。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。

映像を調整する（PICTURE）

基本手順［例：色合い（Tint）を調整する］

●映像に関する項目は PICTURE メニュー画面から調整・設定できます。
●調整・設定する入力モードを選びます。（調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶します）



メニュー表示

1 MENU を押す

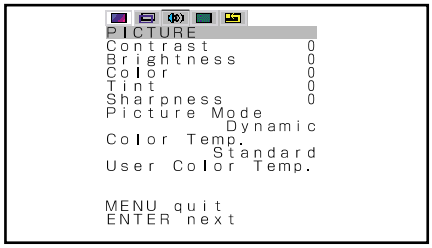
メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して、PICTURE を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔AUDIO↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

PICTUREメニュー画面が表示されます。



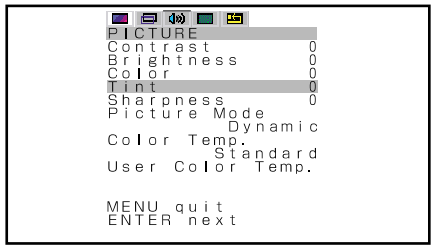
PICTURE を選択した画面

項目選択

3 ▲ ▼ を押して、Tint を選択する

4 ENTER を押す

調整画面が表示されます。



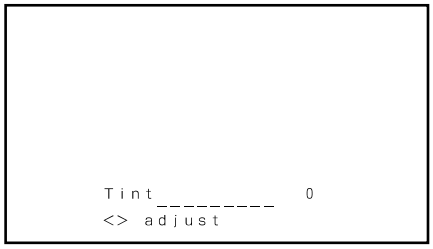
Tint を選択した画面

項目調整

5 ◀ ▶ を押して、Tint を調整する

▶を押す…緑がかった色あいになります。
◀を押す…紫がかった色あいになります。

6 ENTER を押して、記憶する



Tint 調整画面

終了

MENU を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 6 の操作を繰り返します。

コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、画質については下記一覧表の通りです。

▲▼で項目を選択し、◀▶で調整する。最後にENTERを押して記憶する。

調整項目	◀	▶
Contrast(コントラスト)	コントラストが弱くなります	コントラストが強くなります
Brightness(明るさ)	暗くなります	明るくなります
Color(色の濃さ)	色が薄くなります	色が濃くなります
Tint(色合い)	紫がかった色合いになります	緑がかった色合いになります
Sharpness(画質)	やわらかい画質になります	くっきりした画質になります

映像モードを設定する(Picture Mode)

映像モードの設定ができます。

◀▶ を押すごとに切り換わります。

→Dynamic↔Real↔Static←

Dynamic： 通常の動画をご覧になるときに適しています。(標準)

Real　　：コントラスト感のある画面になります。

Static　：静止画をご覧になるときに適しています。

ENTERを押して記憶します。

※ Dynamic,Real,Static はお好みに合わせてお使いください。

ルミナンスの設定(Luminance)

ルミナンスの設定ができます。

◀▶ を押して調整することができます。

ENTERを押して記憶します。

※ Picture Mode が Static のときのみ設定できます。

色温度を設定する(Color Temp.)

◀▶ で色温度の設定ができます。押すごとに切り換わります。

→－3500 ↔ ... ↔ Standard ↔ ... ↔ ＋3500 ↔User←

－3500：赤みがかった画像になります。

Standard：標準

＋3500：青みがかった画像になります。

User　　：User Color Temp. の設定になります。

ENTERを押して記憶します。

色温度のユーザー設定(User Color Temp.)

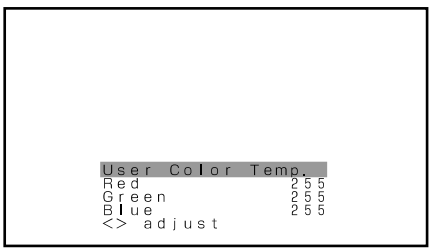
▲▼ を押して Red,Green,Blue を選択できます。

◀▶ を押して調整することができます。

ENTERを押して記憶します。

※色温度の設定が User に切り換わります。

※ User Color Temp. の初期値は工場で個別に調整されたものです。



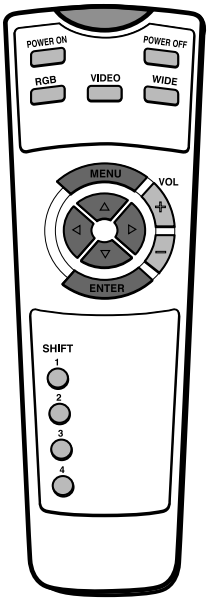
User Color Temp. の設定画面

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。
※表示信号によって調整範囲は異なります。調整可能な範囲で、お好みの画質に調整してください。

表示位置 / サイズを調整する (POSITION/SIZE)

基本手順［例：画面位置の水平方向を調整する］

●表示位置に関する項目は POSITION/SIZE メニュー画面から調整・設定できます。
●調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶しますので、調整・設定する入力モードを選択してから以下の操作を行ってください。



メニュー表示

1 MENU を押す

メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して、
POSITION/SIZE を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔AUDIO↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

POSITION/SIZE メニュー画面が表示されます。

POSITION/SIZE を選択した画面

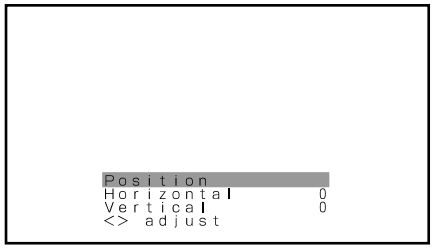
項目選択

3 ▲ ▼ を押して、
Position を選択する

4 ENTER を押す

Position 調整画面が表示されます。

5 ▲ ▼ を押して、
Horizontal を選択する



Position を選択した画面

項目調整

6 ◀ ▶ を押して、表示位置の
水平方向を調整する

▶ を押す…表示位置が右に移動します。
◀ を押す…表示位置が左に移動します。

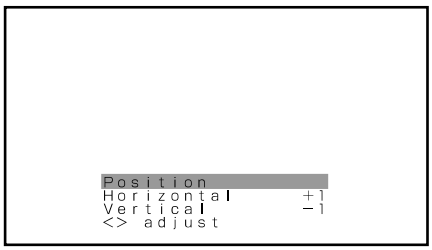
7 ENTER を押して、記憶する

終了

MENU を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 7 の操作を繰り返します。

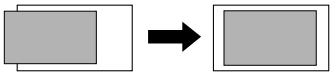
画面位置を調整する（Position）



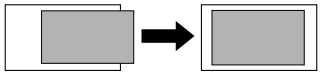
Position 調整画面

水平位置（Horizontal）

を押す：画面位置が右に移動します。

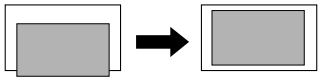


を押す：画面位置が左に移動します。

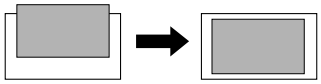


垂直位置（Vertical）

を押す：画面位置が上に移動します。

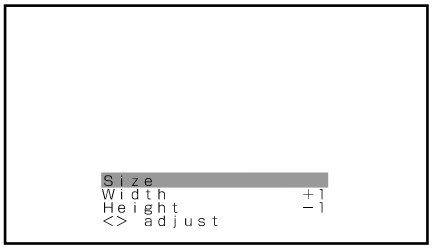


を押す：画面位置が下に移動します。



ENTERを押して記憶します。

画面サイズを調整する（Size）

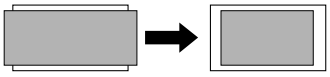


Size 調整画面

水平幅（Width）

を押す：画面の水平幅が大きくなります。

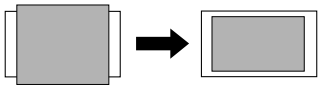
を押す：画面の水平幅が小さくなります。



垂直幅（Height）

を押す：画面の垂直幅が大きくなります。

を押す：画面の垂直幅が小さくなります。



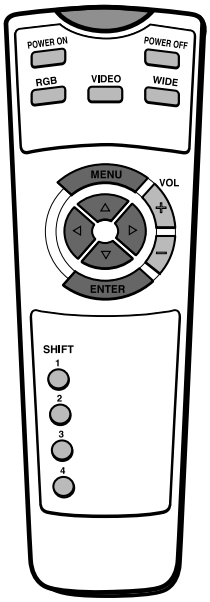
ENTERを押して記憶します。

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。
※表示信号によって調整範囲は異なります。調整可能な範囲で、お好みの画質に調整してください。

音声を調整する（AUDIO）

基本手順［例：左右の音量バランス（Balance）を調整する］

●音声に関する項目は AUDIO メニュー画面から調整・設定できます。
●調整・設定する内容は音声入力ごとに記憶しますので、調整・設定する音声入力を選択してから以下の操作を行ってください。



メニュー表示

1 MENU を押す

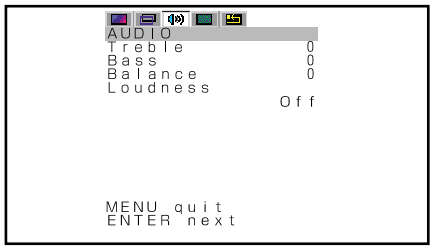
メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して、AUDIO を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔AUDIO↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

AUDIO メニュー画面が表示されます。



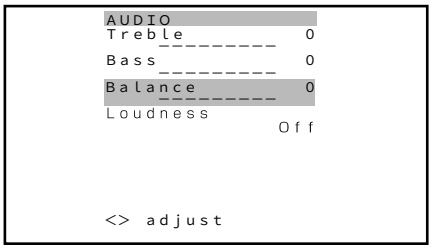
AUDIO を選択した画面

項目選択

3 ▲ ▼ を押して、Balance を選択する

4 ENTER を押す

Balance 調整画面が表示されます。



Balance を選択した画面

項目調整

5 ◀ ▶ を押して、左右の音量バランスを調整する

◀ を押す…右スピーカーからの音が強調されます。

▶ を押す…左スピーカーからの音が強調されます。

6 ENTER を押して、記憶する

終了

MENU を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 6 の操作を繰り返します。

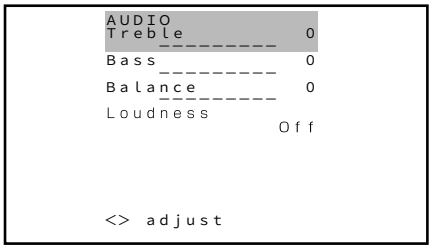
＊ AUDIO は「Audio Input（24 ページ）」が No Audio に設定されている場合には表示しません。

高音を調整する（Treble）

◀ ▶ を押して調整することができます。

◀ を押す：高音が強調されます。

▶ を押す：高音が抑えられます。



Treble を選択した画面

低音を調整する（Bass）

◀ ▶ を押して調整することができます。

▶ を押す：低音が強調されます。

◀ を押す：低音が抑えられます。

左右の音量のバランスを調整する（Balance）

◀ ▶ を押して調整することができます。

▶ を押す：右スピーカーからの音が強調されます。

◀ を押す：左スピーカーからの音が強調されます。

ラウドネスの設定をする（Loudness）

低音と高音のバランスを補正して、小音量でも聞きやすくできます。

On ↔ Off

On：低音と高音の補正をします。

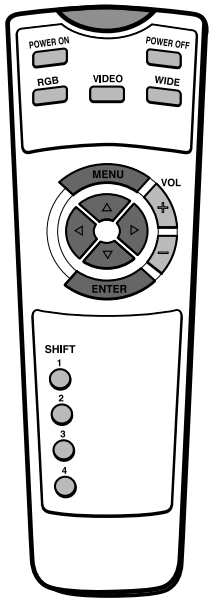
Off：ラウドネスは機能しません。

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。
※表示信号によって調整範囲は異なります。調整可能な範囲で、お好みの音質に調整してください。

その他の設定（FEATURES）

基本手順［例：表示言語（Language）を切り換える］

●その他の調整・設定についてはFEATURESメニュー画面から行います。



メニュー表示

1 MENUを押す

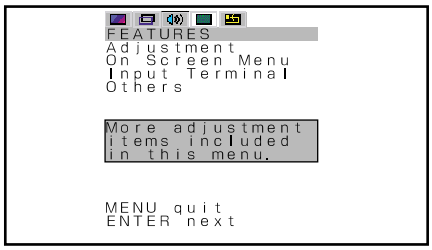
メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶を押して、
FEATURESを選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔AUDIO↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

FEATURESメニュー画面が表示されます。



FEATURESを選択した画面

項目選択

3 ▲ ▼を押して、
On Screen Menuを選択する

調整・設定する項目により下記の項目から選択します。
- Adjustment
- On Screen Menu
- Input Terminal
- Others

On Screen Menuを選択した画面

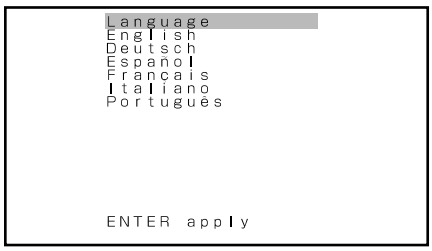
4 ENTERを押す

On Screen Menuが表示されます。

5 ▲ ▼を押して、
Languageを選択する

6 ENTERを押す

Language設定画面が表示されます。



Language調整画面

項目調整

7 ▲ ▼を押して、
言語を選択する

8 ENTERを押す

選択した言語でメニューが表示されます。

終了

MENUを押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3～8の操作を繰り返します。

FEATURES 設定画面は下記の 4 つの項目に区別されています。

- Adjustment　　: Dot Clock や Clamp Position など映像の微調整ができます。 →21ページ
- On Screen Menu : OSD や Language など表示設定ができます。 →22ページ
- Input Terminal : BNC Input など入力端子の設定ができます。 →22～23ページ
- Others　　: その他の設定ができます。 →24～27ページ

Adjustment

ドットクロックを調整する（Dot Clock）　RGBのみ

パソコンのクロック周波数の違いによって、画面に縦縞模様が出ることがあります。そのときには、Dot Clock を調整します。

◀ ▶ で縦縞模様が最小となるように調整します。

ENTER を押して記憶します。

クロック位相を調整する（Clock Phase）　RGBのみ

パソコンのクロック位相の違いによって、画像や文字の輪郭部ににじみやちらつきが出ることがあります。そのときには、Clock Phase を Manual にして調整します。通常は Auto で最適値に設定されます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

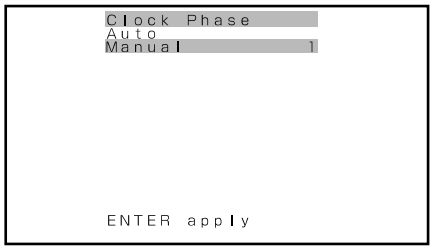
Auto ↔ Manual

Auto　：自動調整します。

Manual : マニュアル調整が可能となります。

◀ ▶ でにじみやちらつきが最小となるように調整します。

ENTER を押して記憶します。



Clock Phase で Manual を選択した画面

クランプポジションを設定する（Clamp Position）RGBのみ

通常は自動で最適値に設定されます。

極端に暗い映像、明るい映像となるときに調整します。

◀ ▶ で正常な画面になるように調整します。

ENTER を押して記憶します。

ダイナミックレンジを最適にする（Auto Calibration）RGBのみ

全白信号を入力し、映像のダイナミックレンジを最適に調整します。

① Auto Calibration を選択して、ENTER を押す。
　Auto Calibration 画面が表示されます。

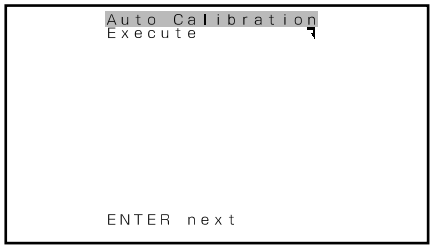
② Execute を選択し、ENTER を押し実行する。

▲ ▼ で Yes,No を選択する。

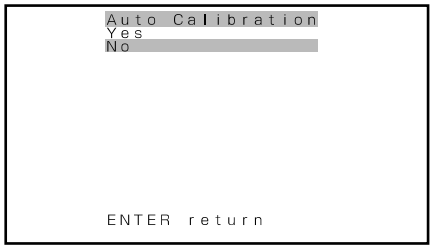
Yes：オートキャリブレーションのデータを記憶します。

No：オートキャリブレーションの実行結果を無効にします。

③ ENTER を押して実行します。



Auto Calibration 設定画面



Yes/No を選択する画面

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。
※表示信号によって調整範囲は異なります。調整可能な範囲で、お好みの画質に調整してください。

On Screen Menu

画面表示を設定する（OSD）

OSDでは、メニュー以外の画面表示について表示する、しない、を選択できます。（エラーメッセージは表示されます）

◀▶を押すごとに切り換わります。

On ↔ Off

On：すべての項目が画面表示されます。

Off：メニュー、エラーメッセージ以外は画面表示されません。

ENTERを押して記憶します。

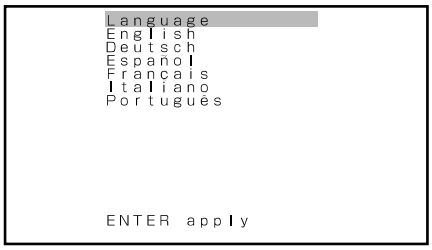
表示言語を選択する（Language）

Languageでは、画面に表示する言語を変更することができます。

① Languageを選択して、ENTERを押す
Language画面が表示されます。

② ▲▼を押して言語を選択する
English：英語
Deutsch：ドイツ語
Español：スペイン語
Français：フランス語
Italiano：イタリア語
Português：ポルトガル語

③ ENTERを押す
選択した言語でメニューが表示されます。



Language選択画面

Input Terminal

Video Input/S-video Input 端子の設定を選択する

入力信号に合ったカラー方式を選択できます。

◀▶を押すごとに切り換わります。

→Auto↔NTSC↔PAL↔SECAM↔PAL60↔4.43NTSC←

Auto　：入力信号がNTSC,PAL,SECAMのとき、自動的に入力に合った設定になります。

Auto以外：入力信号に合わせて設定してください。

ENTERを押して記憶します。

BNC Input 端子の設定を選択する

BNC 入力端子に入力する信号方式を選択できます。

① BNC Input を選択して、ENTER を押す。
BNC Input 画面が表示されます。

② 入力する信号方式を選択する。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

↱Comp.video↔ RGB-Video↔RGB-PC↔ Decoder↰

Comp.video：色差信号入力を用いるときに使用します。
RGB-Video ：RGB 入力で、同期信号レベルが 0.3Vp-p の入力を用いるときに使用します。
RGB-PC ：パソコンで RGB を用いるときに使用します。
Decoder ：デジタルチューナーをRGB信号入力で用いるときに使用します。

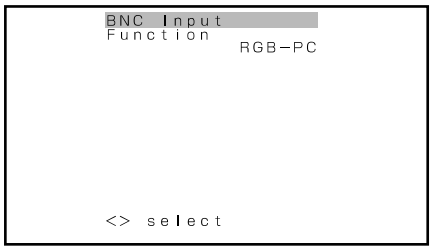
③ ▲ ▼を押して Mask を選択する。

④ Function で Comp.video、RGB-Video、Decoder を選択したときにはマスクの設定ができます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

↱Off↔ 5 ↔ 10 ↔ 15 ↰

Off：マスクはしません。
数値：画面の外側（上下左右）をマスクするピクセル数を示します。

⑤ ENTER を押して記憶します。



BNC-Input 選択画面

この部分をマスクします。

D-SUB Input 端子の設定を選択する

D-SUB 入力端子に入力する信号方式を選択できます。

① D-SUB Input を選択して、ENTER を押す。
D-SUB Input 画面が表示されます。

② 入力する信号方式を選択する。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

RGB-PC ↔ Decoder

RGB-PC：パソコンで RGB を用いるときに使用します。
Decoder：デジタルチューナーを RGB 信号入力で用いるときに使用します。

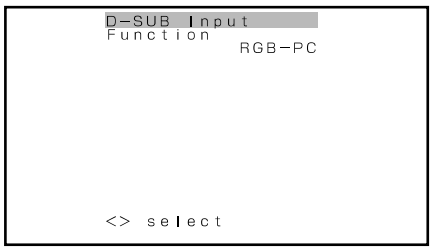
③ ▲ ▼を押して Mask を選択する。

④ Function で Decoder を選択したときにはマスクの設定ができます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

↱Off↔ 5 ↔ 10 ↔ 15 ↰

Off：マスクはしません。
数値：画面の外側（上下左右）をマスクするピクセル数を示します。

⑤ ENTER を押して記憶します。



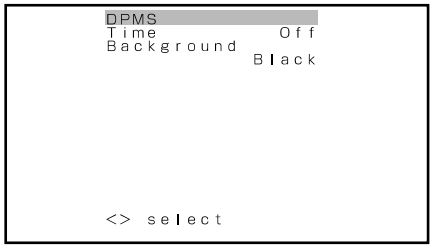
D-SUB Input 選択画面

この部分をマスクします。

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。
※表示信号によって調整範囲は異なります。調整可能な範囲で調整してください。

Others

節電機能の待機時間を設定する（DPMS）



DPMS 選択画面

節電機能が働くまでの待機時間を設定します。
DPMS とは Display Power Management Signaling の略称で、自動的に本機の消費電力を減少させる機能です。
電源が「入」のとき、設定した時間内に信号が入力されないと、節電機能が働いて自動的に画面が消え入力待機状態となり、電源ランプの表示が橙色に変わります。

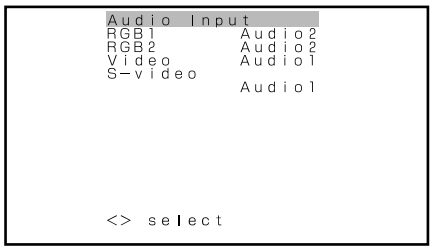
① DPMS を選択して、ENTER を押す。
DPMS 画面が表示されます。
② ▲▼を押して Time を選択する。
③ ◀▶ を押すごとに切り換わります。

→Off↔1 min.↔15 min.↔45 min.↔60 min.↩

Off：DPMS は機能しません。
数値：おおよその待機時間（単位：分）

※節電中は電源ランプが橙色で表示されます。
※信号が入力されると、待機状態は解除され、自動的に電源が「入」になります。
④ バックグラウンドの色の指定ができます。
▲▼を押して Background を選択する。
◀▶ を押すごとに切り換わります。
Black ↔ White
Black：黒色の背景色で映像をミュートします。
White：白色の背景色で映像をミュートします。
※信号がなくなってから、約 20 秒後に切り換わります。
⑤ ENTER を押して記憶します。

音声入力端子の割り当て(Audio Input)



Audio Input 選択画面

音声を映像入力端子のどれに対応するかを割り当てます。

① Audio Input を選択して、ENTER を押す。
Audio Input 画面が表示されます。
② ▲▼を押して映像入力端子を選択する。
③ 対応させる音声入力端子を選択する。
◀▶ を押すごとに切り換わります。

↱No Audio↔Audio 1↔ Audio 2 ↔Audio 3↰

No Audio： 各モードで音声入力が無効になります。
Audio1 ～ 3：各モードで使用する音声入力端子を選択します。
※すべての入力機器に関して②、③の操作を繰り返します。
④ ENTER を押して記憶します。
※ No Audio に設定されている場合には AUDIO メニューは表示しません。

焼き付きを軽減させる（Screen Orbiter）　　RGBのみ

画面の位置を移動させて、画面の焼き付きを軽減させます。

① Screen Orbiter を選択して、ENTER を押す。
　Screen Orbiter 画面が表示されます。
② ▲▼を押して Mode/Time を選択する。
③ 移動パターンを選択する。
　◀▶ を押すごとに切り換わります。
　↱Off↔Time↔Mode↰

　Off　：スクリーンオービターは機能しません。
　Time：1 時間ごとに移動します。
　Mode：電源「入」または入力モードを切り換えたときに移動します。
④ ▲▼を押して Moving Area を選択する。
⑤ ◀▶ を押して移動範囲を選択する。
　◀▶ を押すごとに切り換わります。
　↱Min.↔ Std.↔ Max.↰

　Min. ：狭い範囲の移動（5 ピクセル程度）
　Std. ：中程度の範囲の移動（10 ピクセル程度）
　Max.：広い範囲の移動（15 ピクセル程度）
⑥ ENTER を押して記憶します。

画面保護機能の使用例

※画面保護機能は焼き付きを軽減する機能であって、なくすものではありません。

断続的に使用するとき	連続して使用するとき
DPMS で待機時間を設定する。 入力信号が途絶えると自動的に全白または全黒表示され、設定時間経過後に電源が「切」になります。	RGB 入力モード、VIDEO 入力モードを頻繁には切り換えない場合。 ① Screen Orbiter の Mode/Time で Time を選択する。 ② Screen Orbiter の Moving Area で移動量を選択する。 一定時間ごとに同じ範囲で移動します。 RGB 入力モード、VIDEO 入力モードを頻繁に切り換える場合。 ① Screen Orbiter の Mode/Time で Mode を選択する。 ② Screen Orbiter の Moving Area で移動量を選択する。 Video から RGB にモードが切り換わったときに、位置が移動します。

最優先モード（Input Priority）

指定モードの信号を最優先に表示させるために、その信号が入力されたときのみ、モードを自動的に切り換えます。

◀▶ を押すごとに切り換わります。

↱Off↔RGB1↔RGB2↔Video↔S-video↔Comp.video↰

Off：通常のモード切換
各入力モード：通常のモード切換を禁止し、選択したモードに信号が入力されたときのみ優先的に表示されます。

ENTER を押して記憶します。

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。
※表示信号によって調整範囲は異なります。調整可能な範囲で調整してください。

モニターナンバーを設定する（Monitor No.）

ディスプレイを複数設置したときに、モニターナンバーを設定して、1つのリモコンから個別に操作することができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→0↔1↔2↔3↔4←

0　：通常に操作できます。
　　SHIFT ボタンを押すと、操作できません。

1～4：リモコンの SHIFT 1～4 を押しながら、それぞれのナンバー設定されているモニターを個別に操作することができます。
　　SHIFT ボタンを押さなければ通常に操作できます。

ENTER を押して記憶します。

※ Information 表示でモニターナンバーを確認できます。（27 ページ参照）

RGBの信号を強制的に設定する（Direct Setting）

RGB の入力信号に対する設定を切り換えることができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

RGB1、2 入力モードの時

→Auto↔VGA↔WVGA↔480P↔XGA↔WXGA↔SXGA↔SXGA^{+}←

Auto　：入力信号を自動的に最適に表示します。
その他 ：それぞれの信号に最適な解像度設定に固定します。

ENTER を押して記憶します。

※AutoモードではVGA,WVGA,480P,XGA,WXGA,SXGA,SXGA^{+}の解像度は自動的に判別できない場合があります。画像が正しく表示されないときには固定表示に切り換えてください。

RGBの入力信号を選択する（Code Setting）

通常は Auto でご使用ください。

RGB の入力信号の種類を直接指定して表示することができます。

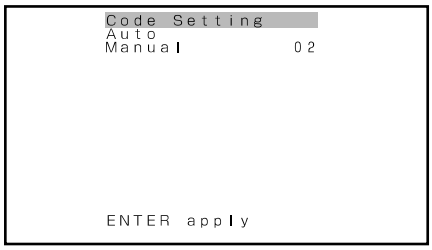
▲ ▼ を押すごとに切り換わります。

Auto ↔ Manual

Auto　：入力信号を自動的に最適に表示します。
Manual：RGB コードを選択します。

ENTER を押して記憶します。

※Autoモードでは信号の種類によっては自動的に最適な解像度の設定ができない場合があります。画像が正しく表示されないときには信号の種類を選択してください。ただし選択したときは、他の解像度の信号は正しく表示されませんので、ご注意ください。



Code Setting 選択画面

全画面を白表示する（White Screen）

全画面を白で表示し、焼き付けを軽減させます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

Off ↔ On

Off：全白表示は機能しません。
On：全白表示されます。

ENTER を押して記憶します。

展示モードの設定（Exhibition Mode）

展示デモ用にコントラストを高めた表示を行います。
不特定の人が使用する環境に最適です。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

On ↔ Off
On：展示モードに設定します。
Off：通常モードに設定します。

ENTER を押して記憶します。
※ユーザー調整値を変更しても、およそ 5 分後に元の状態に戻ります。
コンセントを抜くと設定が解除されます。

縦･横の設置について（Installation）

設置する場合の横置き、縦置きについて、ファンの回転数と メニューなどの画面の表示文字の向きを設定します。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→－90 Deg↔Normal↔＋90 Deg←

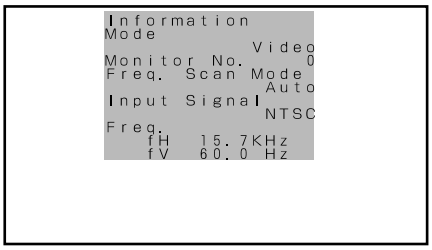
－ 90 Deg：電源ランプが上になるように設置するときに設定します。
Normal　：通常
＋ 90 Deg：電源ランプが下になるように設置するときに設定します。

ENTER を押して記憶します。
※設置方向を変える場合は必ず本設定を行ってください。

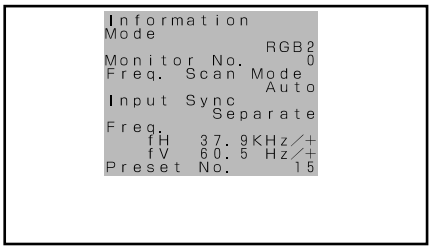
システム動作状態を表示する（Information）

システム動作状態を確認することができます。
Information を選択して、ENTER を押す。
Information 画面が表示されます。

Mode　：入力モードが表示されます。
Monitor No.　：モニターナンバー
Freq.Scan Mode：周波数自動追跡
Input Signal　：ビデオ方式
Input Sync　：信号の種類
Freq.　：同期信号の周波数、極性
Preset No.　：RGB コード番号



Information 表示画面（Video モード）

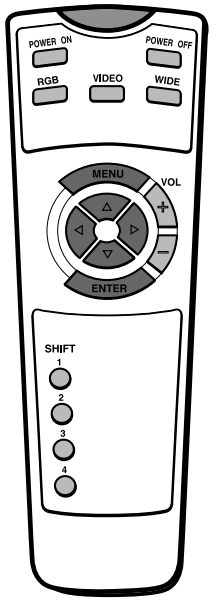


Information 表示画面（RGB2 モード）

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。

基本手順［例：調整・設定した値を工場出荷時の設定に戻す］

●メニューなどで調整・設定した値を工場出荷時の設定に戻します。



メニュー表示

1 MENUを押す

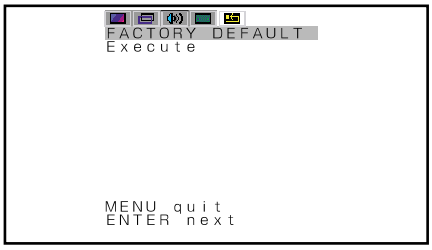
メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶を押して、
FACTORY DEFAULTを選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔AUDIO↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

FACTORY DEFAULT画面が表示されます。



FEATURESを選択した画面

項目選択

3 ENTERを押す

初期化を行って良いか、のメッセージが表示されます。

メッセージを表示した画面

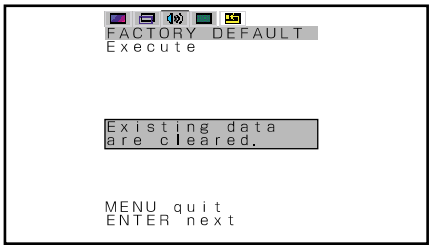
項目調整

4 ▲ ▼を押して、
Yesを選択する

5 ENTERを押す

初期化を行い

完了のメッセージを表示します。



初期化完了のメッセージを表示した画面

終了

MENUを押して、終了する

お手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。キャビネットや画面前部のフィルター、およびリモコンが変質したり塗料がはげたりすることがあります。

キャビネット／リモコンのお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布でふき、仕上げてください。

画面のお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、強く押したり、たたいたりしないでください。

通気孔のお手入れ

本機背面にある通気孔は定期的に掃除機でホコリを吸い取ってください。ホコリをためたまま使用すると、本機内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

修理をご依頼される前に

故障かなと思ったら次の項目を点検してください。

こんなとき……	確認してください
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていますか。
映像が出ない	各機器とのケーブルがはずれていませんか。入力機器の電源は入っていますか。 または入力端子や入力モードを間違えていませんか。 入力モード表示がピンク色になっていませんか。特殊設定を行ってる場合があります。元に戻すか、ユーザー調整値の初期化を行ってください。
リモコンが動作しない	電池の入れ方を間違えていませんか。 電池が消耗していませんか。 遠方から操作していませんか リモコンの送信部を本機の受信部に向けないで操作していませんか。 本機とリモコンの間に障害物がありませんか。
ピシッという音がする	室温の変化によってキャビネットが伸縮するために発生する音です。異常ではありません。
ファーファーという音がする	本機は動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐために放熱用のファンが取り付けられています。 ファンの回転による風きり音です。
画面に斑点が出る	お手持ちのAV機器が自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。
色や色合いが悪い	映像調整が正しく設定されていますか。（14～15ページ:PICTUREメニュー参照）
画面位置・サイズがずれている	画面位置・サイズが正しく設定されていますか。 （16～17ページ:POSITION／SIZEメニュー参照）
外部スピーカーから.音声が出ない	外部スピーカーからのケーブルがはずれていませんか。
音声が出ない	音声入力端子の割り当て（Audio input）が「No Audio」になっていませんか。 または、間違っていませんか。（24ページ：FEATURESメニュー参照）
「Invalid operation」と表示された場合	「Input Priority」が設定されていませんか。 （25ページ：FEATURESメニュー参照）
「Out of range」と表示された場合または画面が白黒になる	本機対応以外の信号が入力されています。 対応信号を確認してください。（取扱説明書(1/2)を参照）
「Error message Condition1」と表示された場合	ファンの異常です。電源プラグをコンセントから抜いたうえで、販売店に点検を依頼してください。
「Error message Condition 2」と表示された場合	装置内温度異常です。電源プラグをコンセントから抜いてください。（温度が下がれば電源の再投入が可能になります）電源再投入後も点灯する場合は、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、販売店に点検を依頼してください。
「Change refresh rate to 60Hz」と表示された場合	垂直周波数が48.3～51.8、58.4～61.4（Hz）以外では、映像がぼやける場合があります。 この表示が出ましたらパソコンなどの設定を変更してください。
電源ランプが赤色および緑色で異常点滅をしている場合	点滅の状態を販売店にご連絡ください。電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源ランプの点滅のしかたで異常状態を示します。

※機種、オプション機器によって機能が無い場合があります。

アフターサービス

必ずお読みください。

保証について

保証書
（本機に添付してあります）

保証書は必ず販売店からお受け取りください。販売店名、お買上げ年月日などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただいて、大切に保管してください。

保証期間中の修理

正常な状態でご使用いただきながら故障した場合は、1年間無料修理を行います。保証書が無い場合は、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、よく読んで大切に保管してください。

保証期間
経過後の修理

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください、当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の
保有期間

当社はこのディスプレイの補修用性能部品を、製造打切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご贈答品などで購入店に
修理を依頼できない場合

お近くの当社製品取扱店か、本説明書の裏表紙の全国サービスネットワークに記載されている最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

修理を依頼されるとき

次のことを
お知らせください

- **形名**…保証書に記載してあります。
- **故障状態**…できるだけ詳しくお伝えください。
- **お買上げ年月日**…保証書に記載してあります。
- **お客様のお名前、ご住所、お電話番号**
- **訪問希望日**…ご都合の悪い日もお伝えください。